

男女共同参画に関する市民意識調査 自由記載欄分析

市民の声から見るジェンダー平等の現状

2026年3月16日

全体ワードクラウドと
頻出語

| キーワード | 出現回数 |
|-------|------|
| 女性 | 422 |
| 男性 | 381 |
| 平等 | 236 |
| 支援 | 217 |
| 育児 | 175 |
| 家事 | 171 |
| 制度 | 160 |
| 行政 | 149 |
| 共同参画 | 136 |
| 意識 | 129 |

ワードクラウド

ワードクラウド(女性)



ワードクラウド(男性)



高年齢者 育児 行政 支援制度 少子化 共同参画

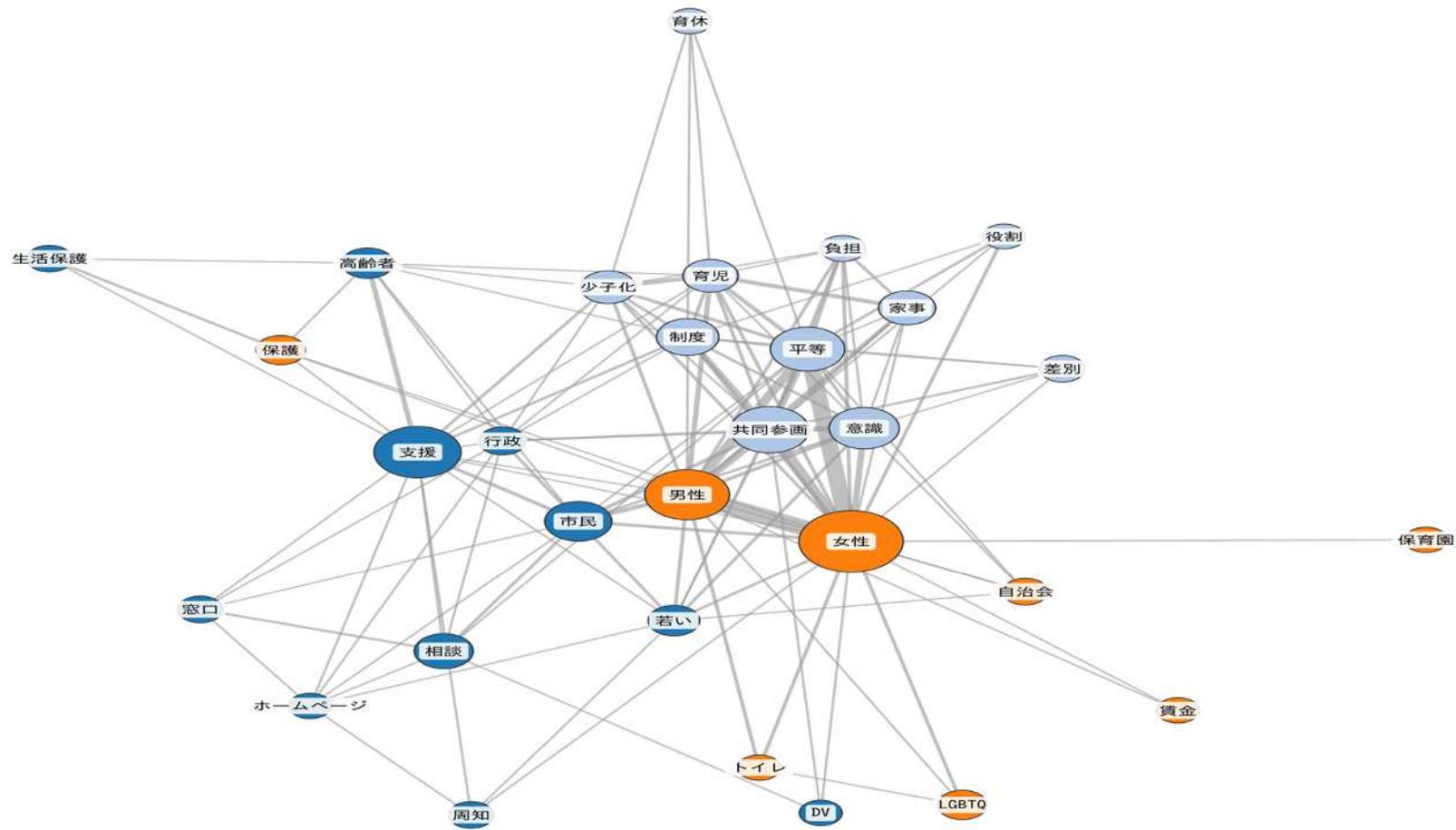
考察

- 29歳以下…女性／平等／制度が並ぶ。支援／育休／共同参画／SNS／トイレ／少子化／若いなどが散発的に出現。
平等や制度アクセス、育休への関心が相対的に強い。デジタル経路(SNS／ホームページ)にも触れあり。
- 30歳代…女性／支援／男性／制度、に次いで保育園／共同参画／保護など。子育て・保育・制度利用に言及が目立ち、
生活局面の具体的支援がテーマ化。
- 40歳代…支援／女性／男性／意識／役職、に次いで少子化／若い／制度／育児ほか。支援ニーズに加え、役職・意識が出ており、職場・役割期待への関心が垣間見える。極性では否定が相対的に多い。
- 50歳代…女性／男性／平等／市民／共同参画に加え、自治会／保護／生活保護、婦人部／周知／負担など地域組織や福祉用語が目立つ。共同参画を地域コミュニティでどう運用するかに関心が向く構図。
- 60歳代…女性／共同参画／支援／男性、に次いで育児／家事／平等／両立など家庭と参画の両立ワードが並ぶ。
インクルージョンの出現もあり、包摂的視点の兆し。
- 70歳代…相談／市民／家事／支援、に次いで女性／男性／平等、窓口／行政、クォータ制／ジェンダーなど。相談・窓口・行政といった“アクセスのしやすさ”や制度の運用への関心が相対的に強い。
- 80歳以上…支援／高年齢者／制度／少子化／共同参画。高年齢者の視点からの支援・制度への言及が中心で、行政／育児も少数ながら存在。世代横断テーマ(少子化・共同参画)への関心を維持。

共起ネットワーク図

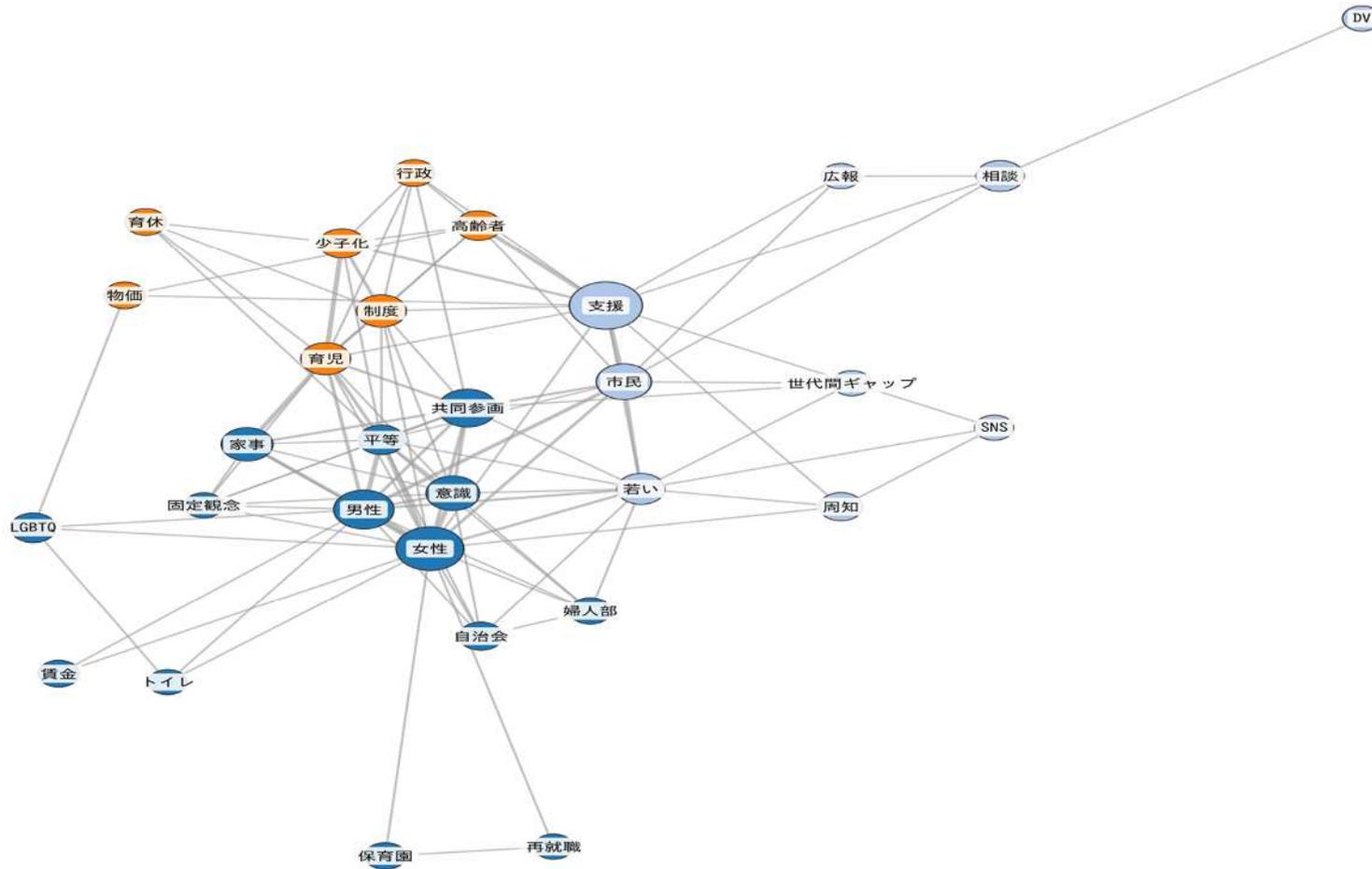
共起ネットワーク図(全体)

全体 | Top30-Connected (threshold=1)



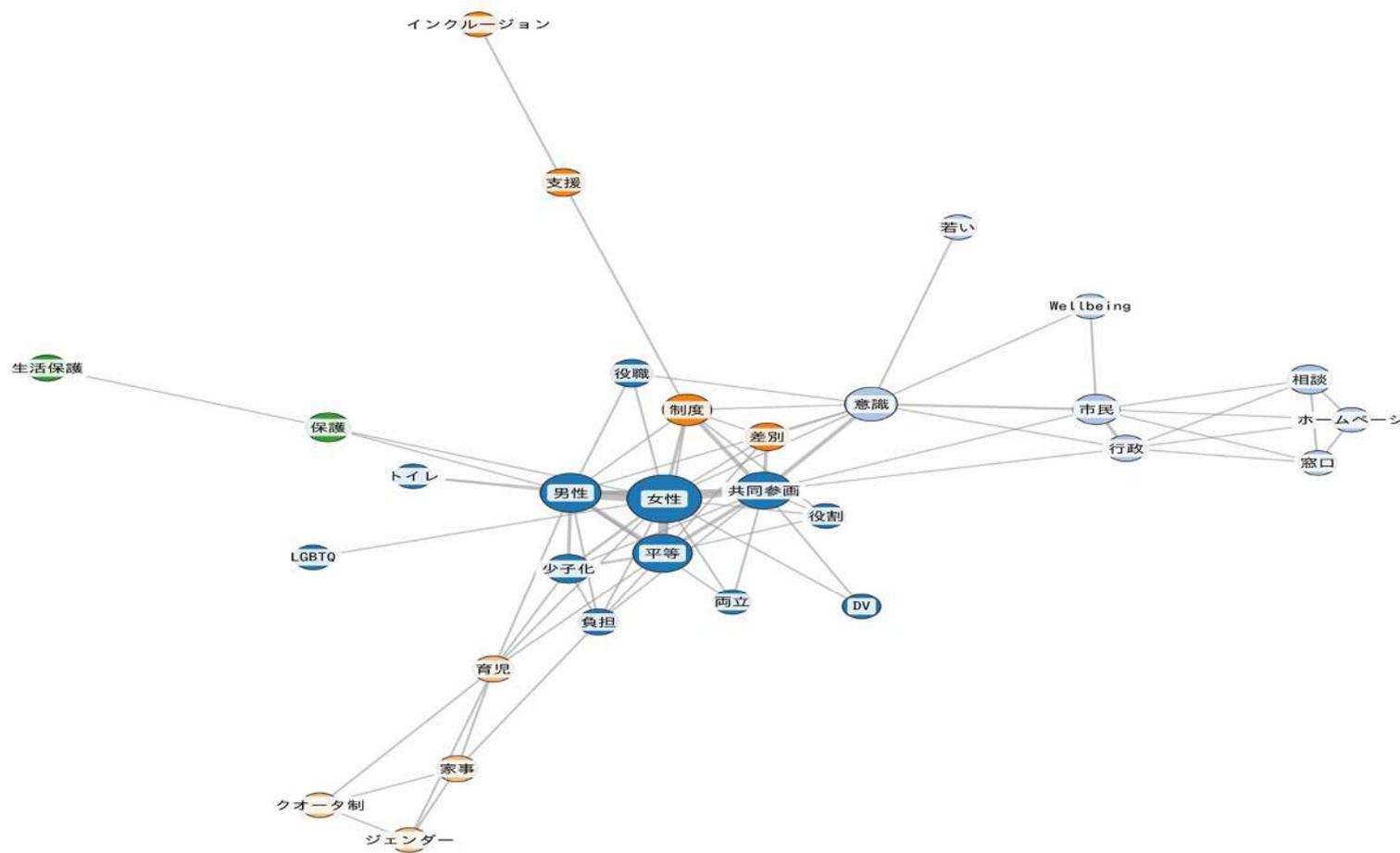
共起ネットワーク図(女性)

性別_女性 | Top30-Connected (threshold=1)



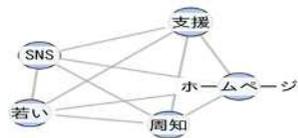
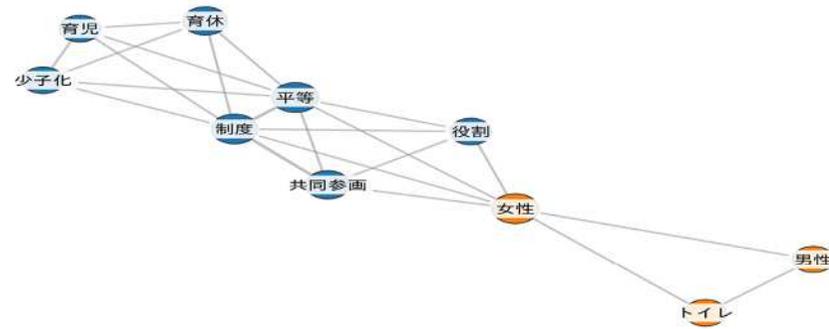
共起ネットワーク図(男性)

性別_男性 | Top30-Connected (threshold=1)



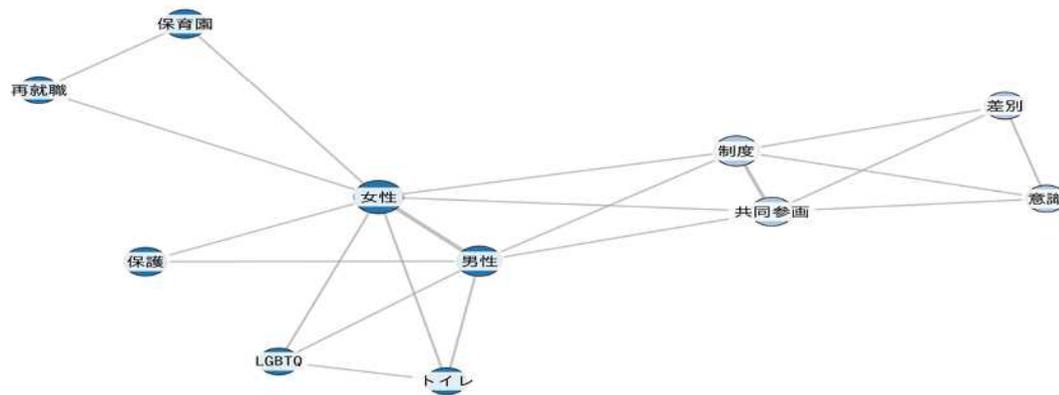
共起ネットワーク図(29歳以下)

年代_29歳以下 | Top30-Connected (threshold=1)



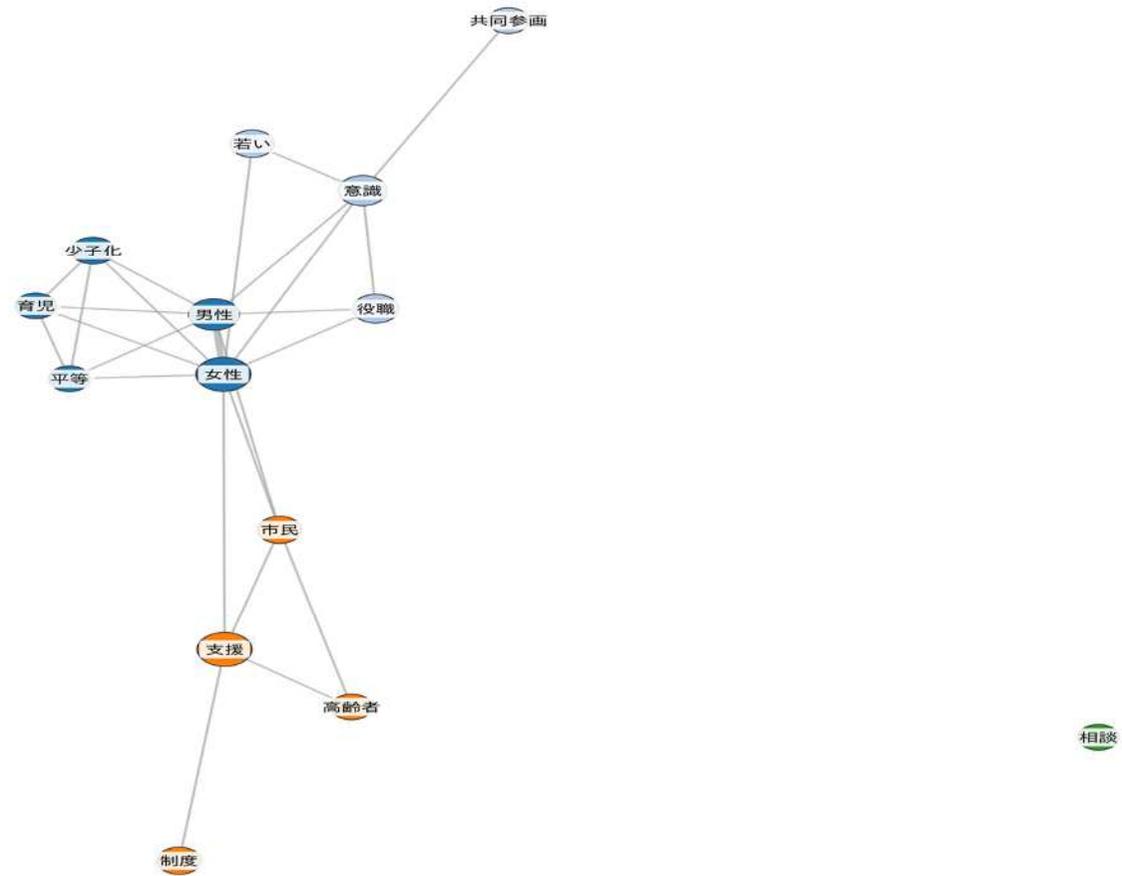
共起ネットワーク図(30歳代)

年代_30歳代 | Top30-Connected (threshold=1)



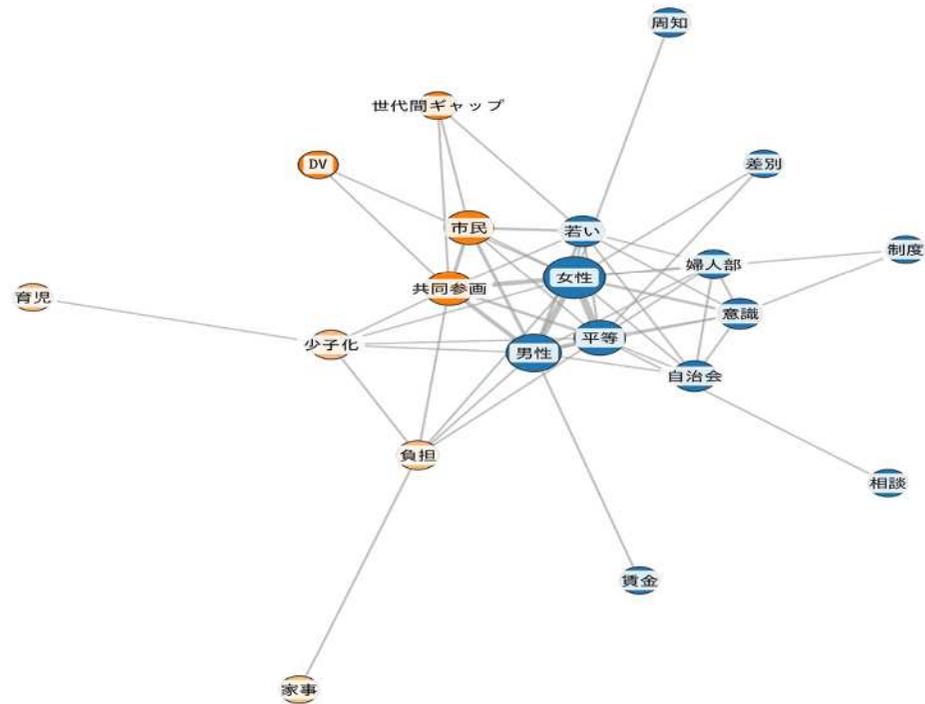
共起ネットワーク図(40歳代)

年代_40歳代 | Top30-Connected (threshold=1)



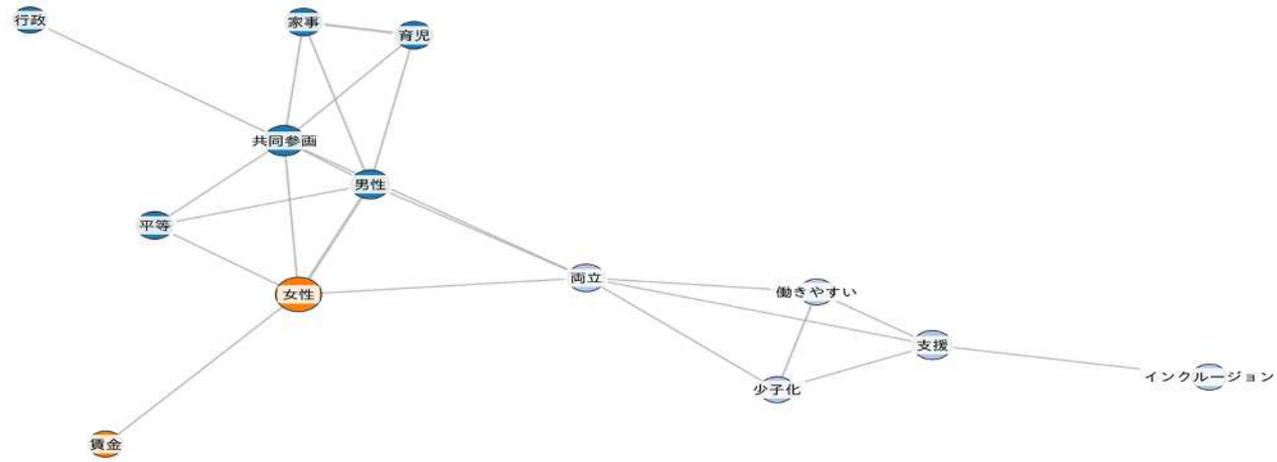
共起ネットワーク図(50歳代)

年代_50歳代 | Top30-Connected (threshold=1)



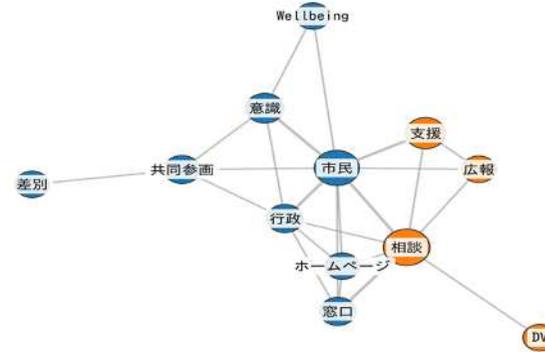
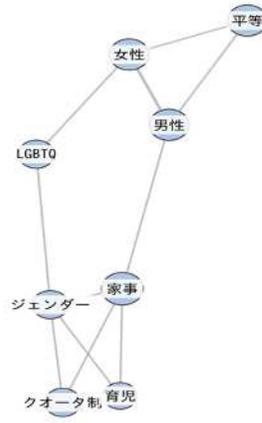
共起ネットワーク図(60歳代)

年代_60歳代 | Top30-Connected (threshold=1)



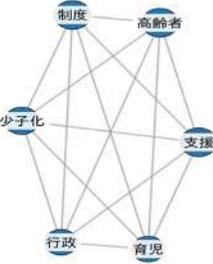
共起ネットワーク図(70歳代)

年代_70歳代 | Top30-Connected (threshold=1)



共起ネットワーク図(80歳以上)

年代_80歳以上 | Top30-Connected (threshold=1)



考察【性別比較】

1-1. 女性のネットワークの特徴コア語(ハブ):

図上の結節として「支援」「女性」「共同参画」「相談」が目立ち、「家事」「育児」「制度」が近接クラスタに配置されています。

生活局面(家庭・育児・相談)由来の語が束になり、支援・制度へ接続している構図です。

橋渡し語:「平等」「意識」「制度」が、生活系の束(家事・育児・相談)と共同参画/ジェンダー関連語群の橋渡しとして機能。生活上の課題認識から、制度・意識変容へと繋ぐ導線が読み取れます。

コミュニティ(語の束):生活負担・子育て支援群(家事/育児/相談/支援)共同参画・意識・平等群制度アクセス群(制度/窓口 など)これらが相互接続しており、「使える支援の具体化」と「共同参画の行動化」が求められる構図です。

示唆:女性は“日常の困りごと→制度/支援へアクセス”の文脈が強く、相談導線の明確化(どこへ・どうやって)、育休・保育の手続き簡素化、家事分担の見える化など“使いやすさのデザイン”が効果的です。

1-2. 男性のネットワークの特徴コア語(ハブ):

「女性」「男性」「平等」「共同参画」「意識」が中心。さらに「制度」「役職」「差別」「保護」など、職場・制度・公的領域に近い語が連結しやすい構造です。

橋渡し語:「平等」「共同参画」「意識」が、役職/差別/保護といった制度・評価・公正の語群とつながり、“理念(フェアネス)→運用(制度・評価)”へ架橋しています。

コミュニティ(語の束):平等・共同参画・意識の理念群役職・差別・保護など公正・制度運用群市民・少子化・相談など社会課題群生活語(家事・育児)は女性に比べると重心が低く、制度・職場のフェアネスが相対的に前面化しています。

示唆:男性側には“評価・登用の透明性”や“柔軟な働き方(育休取得の男女差是正)”の見える化が刺さりやすい。共同参画の理念と紐づけて、企業・組織の公平性指標(例:登用比率、育休取得率)を分かりやすい形で周知するのが有効です。

1-3. 女性 vs 男性:対比まとめ

女性:生活・家庭起点の課題から支援・制度へ接続。橋渡し語は「平等」「意識」「制度」。

男性:理念(平等・共同参画)から制度・職場の公正へ接続。橋渡し語は「平等」「共同参画」「意識」。

共通核は「共同参画」「意識」で、“行動への転換支援”(参加機会・ロールモデル・データの可視化)が両者に通用します。

考察【年代比較】

2-1. 29歳以下

核語:「平等」「制度」「育休」「支援」が近接。「SNS」「ホームページ」の語も絡み、デジタル導線での制度アクセスが示唆されます。

示唆: SNS/Web中心の周知で、育休・保育等の“手続きの道筋”を短いストーリーで提示するのが効果的。

2-2. 30歳代

核語:「支援」「制度」「保育園」「共同参画」。子育て領域の具体的支援がネットワークの中核に。

示唆: 保育・育休の利用促進に向け、申請チェックリスト/FAQの到達容易性を高める。

2-3. 40歳代

核語:「支援」「女性」「男性」「意識」「役職」。職場の役割期待と共同参画の理念が接続し、“評価・登用の透明性”が争点化。

示唆: 人事制度の見える化(昇進・評価基準の公開)と固定観念のアップデート(研修・事例共有)。

2-4. 50歳代

核語:「女性」「男性」「平等」「市民」「共同参画」に加え、「自治会」「婦人部」「生活保護」など地域・福祉の語が束に。

示唆: 地域の共同参画をジェンダーニュートラル化(役割ローテーション・夜間/オンライン参加)し、福祉窓口との連携を強化。

2-5. 60歳代

核語:「女性」「共同参画」「支援」とともに、「家事」「育児」「両立」「平等」が接続。家庭と参画の両立がテーマ化。

示唆: 家庭内の分担支援(見える化ツール/地域の相互支援) + 参加機会の柔軟化。

2-6. 70歳代

核語:「相談」「市民」「家事」「支援」「平等」に加え、「窓口」「行政」、さらに「ジェンダー」「クオータ制」が束になる。“相談できる場・窓口”のわかりやすさと制度運用の関心が強め。

示唆: リアル窓口の案内性向上(表示・導線・待ち時間)と、相談の複線化(紙・電話・対面)。制度の説明を“市民言語”で。

2-7. 80歳以上

核語:「支援」「高齢者」「制度」「共同参画」。高齢者視点からの支援・制度への言及が中核。

示唆: 代理申請・伴走支援の整備、紙と電話・対面の組み合わせで、負担の少ないアクセス設計を。